

小城市

少年・少女スポーツ活動の指針

小城市教育委員会
小城市社会教育委員の会議

令和4年10月

1. 趣 旨

子どもたちは、心や体の成長過程にいます。その子どもたちにとって、スポーツとはどのようなものなのでしょうか。

子どもたちにとってのスポーツとは、体力や技術を向上させるばかりではなく、「礼儀作法」、「周りに対する感謝する気持ち」、「努力することの大切さ」など、健全な心身の形成、豊かな人間性を育んでいくものです。

国の「第3期スポーツ計画」では、「子ども・若者の日常的な運動習慣の確立と体力の向上」に関し、体育・保健体育の授業等を通じて、運動好きな子どもや日常から運動に親しむ子どもを増加させ、生涯にわたって運動やスポーツを継続し、心身共に健康で幸福な生活を営むことができる資質や能力（いわゆる「フィジカルリテラシー」）の育成を図るとされています。

小城市においても、子どもたちがスポーツに親しむ習慣を身につけるため、体力や技術の向上を図るためなど、40以上のクラブが活発に活動されています。

将来、子どもたちがスポーツ活動で培った優秀な技能や精神力をより一層活かすためにも基礎学力をしっかりと身につけておくことは大切です。

これからの時代は、知識や情報、技術が社会のあらゆる領域で重要性を増す「知識基盤社会」であり、生き抜く力や人間力を身につけることが必要であると考えます。

そのためにも、子どもたちの健全な成長や学習に対する姿勢、子どもたちに密接に関わるスポーツの指導者をはじめとする周囲の大人が配慮すべき基本的事項について、社会教育委員の会議で話し合いを行い、「小城市 少年・少女スポーツ活動の指針」として策定しました。

スポーツクラブ等の関係者の皆さまにおかれましては、本指針の趣旨をご理解していただき、また、指針に沿った活動を推進されることで、子どもたちの心身の健全な育成が図られることを期待します。

2. スポーツ活動に関するアンケート調査

本指針を策定するにあたり、市内で活動されている少年・少女スポーツ団体の指導者及び保護者に対して、アンケート調査を実施、また、「H28.3」版を策定した際に実施したアンケート調査の項目との比較、整理をしてみました。

生活態度を養う

◆ 前回アンケート

- 大人の言葉づかいが、子どもに影響を与えている

◆ 今回アンケート

【指導者が指導するにあたり、心掛けていること】

- 子どもたち同士のコミュニケーション、チームワークの大切さ
- 挨拶や礼儀作法、感謝の気持ちを持つこと
- 目標に向かって努力することの大切さ、諦めない精神力を養うこと
- 勝つことの喜び、負けることの悔しさを学ぶこと
- 一人で過ごす子どもが増えている中、人との関わり方を学ぶこと

【保護者が子どもたちにスポーツを通して学んで欲しいこと】

- 挨拶や礼儀、チームワークの大切さを学んで欲しい
- 一生懸命に取り組む姿勢
- 勝つことの喜び、負けることの悔しさ、プレッシャーに打ち勝つ心の強さを身につけてほしい

健康への気配り

◆ 前回アンケート

- 毎日きちんと食事をとれていない子どもがいる 2%

◆ 今回アンケート

【指導者】

- 日々の練習で健康な体を作ること
- 真の護身と心の静養
- 健康管理

【保護者】

- 食事はきちんととれている 97%
- 平均睡眠時間は7-9時間 97%
- 心身共に強くなってほしい
- 体力の向上、精神的・肉体的な成長
- 心の成長

生活のバランスと指導内容

◆ 前回アンケート

- ほぼ毎日練習、土日には試合等が入り、家族と過ごす時間がない
- 練習時間が3時間以上あり、生活のリズムや宿題、翌日の学校生活に影響がある
- 子どもたちの体力に合った練習方法でないと感じている

◆ 今回アンケート

【指導者】

- 活動頻度：週3－5日 74%
- 平日の活動時間：1－3時間程度 93%
- 休日の活動時間：1－3時間程度 63%

【保護者】

- 活動頻度についての満足度：満足している 62%
- 活動時間についての満足度：平日・休日ともにちょうどいいと感じる

安心・安全な環境づくりと地域の連携

◆ 前回アンケート

- スポーツ活動以外の社会的経験に影響がある
- 指導者不在時に子どもたちだけで練習をしているケースがある
- 習い事や練習、試合などがあり、地域の行事に参加できていない

◆ 今回アンケート

【指導者】

- 活動中にケガがないように注意している

【保護者】

- 習い事で忙しく、地域行事に参加できていない
- 練習や試合、大会などと重なる
- 地域行事へ参加している：73%
- 地域行事へ参加していない（できていない）：47%
- 所属しているスポーツ活動のみ：44%
- 所属している他に習い事などあるか：56%

- ◆ 前回アンケート
 - 送迎当番など、保護者の出番が以前より多くなっていて、ストレスを感じる
 - 試合に出る子と出ない子の問題など、指導者と保護者、また、保護者間同士で分かりあえていないことがある

 - ◆ 今回アンケート
- 【保護者】
- 親の送迎などが必要となっていて、共働きには負担が重い
 - チームづくりをやる上で、保護者が参加しやすい体制を整えてほしい
 - 送迎の役割を分担することで、親の負担（ひとり親や鍵っ子など送迎支援が難しい家庭も含め）の軽減につながることができている
 - 監督やコーチには、子どもたちのために尽力してもらい感謝している
 - 指導者には、親とも学校の先生とも違う距離感で、子どもたちを育ててもらっていることについて、大変感謝している

3. スポーツ活動の指針

アンケートの調査結果を整理し、今後の少年少女スポーツ活動に向けた「指針」として、次の5か条にまとめました。

小城市 少年・少女スポーツ活動の指針 5 か条

— 指導者も 親も地域も学校も —

一. 生活態度を養う

スポーツは、ルールを守ること。勝っても負けても、心と行動のフェアプレーが大切です。指導者をはじめとする周囲の大人は、子どもたちの日頃のスポーツ活動や日常生活における言葉づかい・行動について、十分な配慮ができるよう心がけましょう。

一. 健康への気配り

「早寝・早起き・朝ごはん」を基本とし、練習前後の体調や熱中症等への対応など、子どもたちの心身及び健康状態に気を配るよう心がけましょう。

一. 生活のバランスと指導内容

活動計画の中に、発達年齢に応じた指導、指導に応じた活動時間・活動頻度を取り入れ、子どもたちの日々の生活バランスが保たれるよう心がけましょう。
(第3日曜日は「家庭の日」です。活動を休止し、完全休養を取りましょう。)

一. 安心・安全な環境づくりと地域との連携

子どもたちが、より安心・安全な環境でスポーツ活動に取り組むために、家庭・学校・スポーツの場で連携し、情報の交換・共有ができるよう心がけましょう。

また、子どもたち自身も地域社会を構成する一員として、できる限り地域行事などへの参加に努めましょう。

一. 信頼関係の構築

スポーツ活動は、関係者同士の良好な信頼関係によって、よりスムーズに、より活発になります。指導者と保護者、また保護者間においても常にコミュニケーションを取って信頼関係を築いていきましょう。

〔 この指針が参考となり、子どもたちの技術力・精神力の向上、安心・安全な環境の中で、のびのびとスポーツ活動ができることを願っています。 〕